

腎臓内科

腎臓内科は、原発性糸球体腎炎やそれに伴うネフローゼ症候群のみならず、高血圧、糖尿病、膠原病、血管炎など多岐にわたる全身疾患に伴う腎障害も担当しています。また、緊急を要する疾患としては急性腎不全、急速進行性糸球体腎炎、慢性腎不全の急性増悪などがあります。さらに、血液透析・腹膜透析など血液浄化療法を専門的に扱っています。

腎臓内科コースでは、クリニカル・クラークシップ(診療参加型臨床実習)を導入し、効率よく実習を行うことを目指します。特に、臨床症例を通じて、腎臓病の診断・治療、腎不全患者の管理、透析療法の管理などを実習することが可能です。

【実習目標】

- 1) 患者の情報を収集し、診断計画、治療計画、教育計画を立てることができる。
- 2) バイタル、胸部、腹部の診察を中心に、患者の基本的な身体診察ができる。
- 3) 症例のプレゼンテーションを行うことができる。
- 4) 基本的腎疾患を受け持ち、病態、症候、診断、治療、予後を学ぶ。
- 5) 指導医、病棟担当医、研修医、学生からなる屋根瓦式の医療チームの中で自らの役割を理解し、チームの一員として働くことができる。

【実習内容】

月曜日は8:30に中央研究棟2階 分子内科学 医科診療医室213に白衣、聴診器持参で集合して下さい。

(月曜日が祝日の場合は火曜日8:30に9階東病棟に集合して下さい。)

	午前		午後	
月	8:30	症例検討会	13:00	病棟実習
	10:00	教授回診		
	11:00	オリエンテーション(1週目)		
火	8:30	病棟実習	13:00	病棟実習
	11:00	シャントPTA	17:00	腎生検カンファレンス、抄読会
水	9:00	腎生検見学	13:00	病棟実習
木	8:30	病棟実習	13:00	病棟実習
金	8:30	病棟実習	13:00	病棟実習

適宜変更する場合があります。

- **受け持ち症例**

腎臓内科で主要な疾患(糸球体腎炎, ネフローゼ症候群, 高血圧, 糖尿病, 膠原病などに伴う全身性腎疾患, 慢性腎不全, 急性腎不全など)を受け持つようにします.

- **評価**

学生の評価は以下のように行います。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	20点
症例のプレゼンテーション	20点
学生用電子記録を含めた症例の理解度	30点
ポートフォリオの内容	10点
病歴要約作成	20点

【担当教官】

- 正木 崇生 (教授)
- 土井 俊樹 (助教・診療講師)
- 平塩 秀磨 (診療講師)

【緊急連絡先】

腎臓内科 土井 俊樹 (TEL: 082-257-1506, PHS 4522)